

一般社団法人日本人間工学会第 22 回理事会 議事録

1. 開催日時：平成 25 年 10 月 15 日（金）15:30～18:04

2. 開催場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス 5 号館 2 階 524 会議室

3. 出席者：

<敬称略>

・理事会構成員(27 名・定足数 14 名以上)

(理事) 青木和夫(理事長・学術・企画・ウェブアクセシビリティ支援委員長), 酒井一博(副理事長・学会組織検討委員長・企業の人間工学教育のあり方検討委員長), 榎原毅(広報), 大内啓子(総務), 大久保堯夫, 大須賀美恵子(編集), 河合隆史(企画・IEA), 小谷賢太郎(国際), 酒井正幸, 三林洋介(財務), 津久井一平, 徳田哲男, 堀江良典(総務・第 54 回大会長), 松岡敏生, 三宅晋司(財務), 矢口博之

[16 名]

(理事兼支部長) 横山真太郎(北海道), 北村正晴(東北), 斎藤真(東海), 森本一成(関西)

[4 名] [計: 20 名]

(欠席者) 阿久津正大(関東・表彰), 土屋和夫, 芳賀繁(安全人間工学委員長), 福田康明, 吉武良治(人間工学専門家認定機構長・第 4 期選管), 村田厚生(中国・四国), 和田親宗(九州・沖縄)

・監事：赤松幹之

・オブザーバー：斉藤進(学術・50 周年準備委員会), 藤田祐志(IEA), 横井孝志(ISO/TC159 国内対策委員長)

・事務局：栗田紀子, 西原彩, 米倉裕美

4. 議事概要

定足数 14 名を超える 20 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後, 定款に従い理事長を議長として議事を進行した。

大須賀美恵子理事は、他の理事会参加者と意見交換が可能な電話会議システムによる出席であった。

【審議事項】

(1) 第 1 号議案 2015 年の第 56 回大会長について

理事長より, 第 56 回大会の開催地について, これまで開催したことの少ない地区で開催したい旨説明があり, 審議を経て承認された。

(2) 第 2 号議案 行動規範の初版原案について

斉藤学術担当より, 行動規範(案)の内容について説明があり, 以下の審議が行われた。

- ・規範項目 5 の「行動」の表現について, その範囲を明確にすべきではないか。
- ・規範項目 1 の「安全・安心できる社会」の表現について, 「安心」は定義が難しいため, 「安全・信頼できる」等に変更するべきではないか。

以上 2 点について, 検討案を作成することとなった。

なお, 分科会(仮称)の名称について審議した結果, 原案通り承認された。

行動規範の初版原案は、学会誌と HP において公開する。

(3) 第 3 号議案 50 周年記念企画案等 (50 周年準備委員会) について

斉藤 50 周年準備委員長より、50 周年記念企画アイデア募集状況と、提案企画案について説明があり、審議の結果以下の 3 つの企画を大会記念シンポジウムとして実施することが了承された。

- ・特別シンポジウム「人間工学の過去・現在・未来 (仮題)」
- ・シンポジウム「新しい IEA ウェブサイト構築等に見る JES 国際貢献 (仮題)」
- ・シンポジウム「ポスト・グランジャンの人間工学を探る : Evidence Based Ergonomics in Practices (仮題)」

なお、シンポジウム「新しい IEA ウェブサイト構築等に見る JES 国際貢献 (仮題)」については、国際協力・ISO/TC159・IEA 担当がジョイントし、「JES 国際戦略」として進める。その他の提案企画については、各担当において具体化を進める。

また、他の企画案である「学会誌「人間工学」特集号の発行」、「学会事業のアーカイブ化」、「人間工学博物館の設置」についても、各担当において具体化することです承された。

(4) 第 4 号議案 ACED2014 の開催と次回 ACED 開催地の検討について

小谷国際協力委員長より、第 1 回 ACED2014 (アジアにおける人間工学関連の国際会議) の準備状況報告と次回 ACED 開催地について説明があった。2017 年に行われる第 2 回大会を日本で開催が可能であるかについて審議した結果、日本で引き受ける方向で進めていくことです承した。ただし、大会開催時期等の詳細については、今後検討することとなった。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 一般社団法人日本人間工学会第 21 回理事会議事録

堀江総務理事より、メール審議を経て第 21 回理事会議事録が確定した旨、報告があった。

(1-2) 会勢報告 (9 月末)

2013 年 9 月末現在、会員数 1,633 名、賛助会員 32 社 33 口。

(1-3) 新事務局員について

新事務局員 (兼 JENC 事務局員) である米倉氏の試用期間が終了し、正職員として採用する旨報告があった。

(2) 財務報告

三林財務理事より以下の報告があった。

・平成 25 年 9 月度収支決算報告

9 月度収支は、ほぼ例年通りの状況であった。

・第 54 回大会からの寄付金

第 54 回大会 (堀江良典大会長、日本大学) より、50 万円の寄付金があった。深く感謝する。

・複数年会費未納者について

4 年以上会費未納入の会員 (20 人) は年度内に会員資格を喪失する。

(3) 第 54 回大会報告

堀江第 54 回大会長より、大会には約 550 名参加（その内韓国から約 60 名参加）があった旨報告があった。また、大会講演集は J-stage の人間工学特別号として掲載した旨報告があった。今後の大会講演集も今回同様に、J-stage の人間工学誌と同じページへ掲載することを確認した。

(4) 第 55 回大会について

2014 年 6 月 5 日（木）、6 日（金）に神戸コンベンションセンタ「神戸国際会議場」で摂南大学・川野常夫大会長のもと開催する第 55 回大会の進捗状況について報告があった。

(5) 担当・委員会報告

(5-1) 編集委員会

榎原副委員長より、会誌発行状況と次号会誌の進捗状況、論文採択率、電子査読制度等について報告された。

また、大須賀委員長よりクイックレビュー制度の採択状況・今後の進め方等についての報告、支部大会発表における優秀発表に対する論文投稿推薦等についてのお願いがあった。

(5-2) 国際協力委員会

小谷委員長より、2013 年 8 月 26、27 日にパリで開催された IEA 理事会報告と 2014 年 6 月台湾で行われる IEA 理事会等について報告があった。

(5-3) ISO/TC159 国内対策委員会

横井委員長より、第 21 回 TC159 総会が済州島で 2013 年 10 月 9、10 日に開催された旨報告があった。次回総会は 2015 年 4 月に USA で開催する。なお、2016 年の第 23 回総会を東京で開催してもよいと議長に伝えた旨報告があった。

(5-4) 表彰委員会

矢口副委員長より、平成 25 年優秀研究発表奨励賞の受賞者と表彰委員会活動について報告があった。

(5-5) 人間工学専門家認定機構

堀江総務理事より、資格認定試験の実施と専門資格登録者等について報告があった。また、CPE セミナー（2013 年 11 月 20 日）開催と会誌の発行について報告があった。

(5-6) ウェブアクセシビリティ支援委員会

小谷理事より、IEA Web サイトは完成している旨報告があった。サーバー変更が出来次第、一般に公開予定。

(5-7) 第 4 期選挙管理委員会

堀江総務理事より、第 4 期代議員および役員選挙管理委員会の日程等について報告があった。

(6) 支部報告

(6-1) 北海道支部

横山支部長より、H25 年度支部総会・大会を 11 月 22 日に北海道大学で開催する旨報告があった。

(6-2) 東北支部

北村支部長より、2月14日に支部研究会を山形で開催する旨報告があった。

(6-3) 関東支部

三林理事より、12月7、8日に関東支部大会を首都大学東京（日野市）で開催する旨報告があった。また、関東支部選挙に関する進捗状況について報告があった。

(6-4) 東海支部

斎藤支部長より、HPリニューアルと9月18日に支部役員会開催、11月2日に椋山女学園大学で研究大会を開催する旨報告があった。

(6-5) 関西支部

見学会を11月14日に川崎重工で開催。関西支部大会を12月14日に開催。関西支部と中国四国支部合同シンポジウムを開催する旨報告があった。

(6-6) 九州・沖縄支部

第34回支部大会を10月26、27日に霧島国際ホテル（鹿児島）で開催する旨報告があった。

(7) 協賛等の依頼

青木理事長より、15件の依頼について協賛をする旨報告があった。

(8) その他

(8-1) 今後の理事会日程

堀江総務理事より、第23回理事会を2月25日（火）15:30～18:00に開催する旨報告があった。

(8-2) その他

青木理事長より人間工学公開講座開催に向けて検討を進めている旨報告があった。

(9) 閉会

以上の議事を終え、18時04分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、代表理事、監事がこれに記名押印する。

平成25年10月15日

代表理事

青木和夫[Ⓢ]

監事

赤松幹之[Ⓢ]